



Informatica® Cloud Integration Hub  
October 2023

**新機能**

© 著作権 Informatica LLC 2016, 2024

本ソフトウェアおよびマニュアルは、使用および開示の制限を定めた個別の使用許諾契約のもとでのみ提供されています。本マニュアルのいかなる部分も、いかなる手段（電子的複製、写真複製、録音など）によっても、Informatica LLC の事前の承諾なしに複製または転載することは禁じられています。

米政府の権利プログラム、ソフトウェア、データベース、および関連文書や技術データは、米国政府の顧客に配信され、「商用コンピュータソフトウェア」または「商業技術データ」は、該当する連邦政府の取得規制と代理店固有の補足規定に基づきます。このように、使用、複製、開示、変更、および適応は、適用される政府の契約に規定されている制限およびライセンス条項に従うものとし、政府契約の条項によって適当な範囲において、FAR 52.227-19、商用コンピュータソフトウェアライセンスの追加権利を規定します。

Informatica、Informatica Cloud、Informatica Intelligent Cloud Services、PowerCenter、PowerExchange、および Informatica ロゴは、米国およびその他の国における Informatica LLC の商標または登録商標です。Informatica の商標の最新リストは、Web (<https://www.informatica.com/trademarks.html>) にあります。その他の企業名および製品名は、それぞれの企業の商標または登録商標です。

本ソフトウェアまたはドキュメンテーション（あるいはその両方）の一部は、第三者が保有する著作権の対象となります。必要な第三者の通知は、製品に含まれています。

本マニュアルの情報は、予告なしに変更されることがあります。このドキュメントで問題が見つかった場合は、[infa\\_documentation@informatica.com](mailto:infa_documentation@informatica.com) までご報告ください。

Informatica 製品は、それらが提供される契約の条件に従って保証されます。Informatica は、商品性、特定目的への適合性、非侵害性の保証等を含めて、明示的または黙示的ないかなる種類の保証をせず、本マニュアルの情報を「現状のまま」提供するものとします。

発行日: 2024-02-08

# 目次

<b>序文</b> .....	4
Informatica のリソース.....	4
Informatica マニュアル.....	4
Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト.....	4
Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティ.....	4
Informatica Intelligent Cloud Services マーケットプレイス.....	5
データ統合コネクタのドキュメント.....	5
Informatica ナレッジベース.....	5
Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center.....	5
Informatica グローバルカスタマサポート.....	5
 <b>第 1 章 : 2023 年 10 月</b> .....	6
新機能と改良点.....	6
 <b>第 2 章 : 2023 年 7 月</b> .....	8
新機能と改良点.....	8
サブスクリプションの [一時停止] モード.....	8
ホームページからアプリケーションを検索する機能.....	8
リレーショナルトピックテーブルのフィールドに対する [必須] の設定.....	8
データ統合のサブスクリプションソース内にあるパブリッシュされたデータのソートのサポ ート.....	9
イベント API 応答の実行 ID 属性.....	9
変更された動作.....	9
 <b>第 3 章 : 2023 年 4 月</b> .....	10
新機能と改良点.....	10
API ベースのサブスクリプションに対する基本認証された通知 URL のサポート.....	10
[参照] ページのデータ統合アセットおよび一括取り込みファイルアセット.....	10
時間範囲を指定してサブスクリプションの以前ののパブリケーションを取得する.....	10
複合サブスクリプションのオプションのトピック.....	10
変更された動作.....	11
Cloud 統合ハブをファイル取り込みタスクのソースまたはターゲットとして使用する.....	12
トピックデータの暗号化.....	12
オブジェクトの依存関係.....	12
ストレージの使用状況.....	13
 <b>索引</b> .....	14

# 序文

*Cloud Integration Hub* の新機能をご覧になり、Informatica Intelligent Cloud Services<sup>SM</sup> Cloud Integration Hub の新機能、拡張機能、動作の変更の詳細を確認してください。

## Informatica のリソース

Informatica は、Informatica Network やその他のオンラインポータルを通じてさまざまな製品リソースを提供しています。リソースを使用して Informatica 製品とソリューションを最大限に活用し、その他の Informatica ユーザーや各分野の専門家から知見を得ることができます。

### Informatica マニュアル

Informatica マニュアルポータルでは、最新および最近の製品リリースに関するドキュメントの膨大なライブラリを参照できます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

製品マニュアルに関する質問、コメント、ご意見については、Informatica マニュアルチーム ([infa\\_documentation@informatica.com](mailto:infa_documentation@informatica.com)) までご連絡ください。

### Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト

Informatica Intelligent Cloud Services Web サイト (<http://www.informatica.com/cloud>) にアクセスできます。このサイトには、Informatica Cloud 統合サービスに関する情報が含まれます。

### Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティ

Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティを使用して、技術的な問題について議論し、解決します。また、技術的なヒント、マニュアルの更新情報、FAQ（よくある質問）への答えを得ることもできます。

次の Informatica Intelligent Cloud Services コミュニティにアクセスします。

<https://network.informatica.com/community/informatica-network/products/cloud-integration>

開発者は、次の Cloud 開発者コミュニティで詳細情報を確認したり、ヒントを共有したりできます。

<https://network.informatica.com/community/informatica-network/products/cloud-integration/cloud-developers>

## Informatica Intelligent Cloud Services マーケットプレイス

Informatica マーケットプレイスにアクセスすると、データ統合コネクタ、テンプレート、およびマップレットを試用したり購入したりできます。

<https://marketplace.informatica.com/>

## データ統合コネクタのドキュメント

データ統合コネクタのドキュメントには、マニュアルポータルからアクセスできます。マニュアルポータルを利用するには、<https://docs.informatica.com> にアクセスしてください。

## Informatica ナレッジベース

Informatica ナレッジベースを使用して、ハウツー記事、ベストプラクティス、よくある質問に対する回答など、製品リソースを見つけることができます。

ナレッジベースを検索するには、<https://search.informatica.com> にアクセスしてください。ナレッジベースに関する質問、コメント、ご意見の連絡先は、Informatica ナレッジベースチーム ([KB\\_Feedback@informatica.com](mailto:KB_Feedback@informatica.com)) です。

## Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center は、Informatica のセキュリティポリシーおよびリアルタイムでのシステムの可用性について情報を提供します。

Trust Center (<https://www.informatica.com/trust-center.html>) にアクセスします。

Informatica Intelligent Cloud Services Trust Center にサブスクライブして、アップグレード、メンテナンス、およびインシデントの通知を受信します。[Informatica Intelligent Cloud Services Status](#) ページには、すべての Informatica Cloud 製品の実稼働ステータスが表示されます。メンテナンスの更新はすべてこのページに送信され、停止中は最新の情報が表示されます。更新と停止の通知がされるようにするには、Informatica Intelligent Cloud Services の 1 つのコンポーネントまたはすべてのコンポーネントについて更新の受信をサブスクライブします。すべてのコンポーネントにサブスクライブするのが、更新を逃さないようにするための最良の方法です。

登録するには、<https://status.informatica.com/> に移動し、**[更新を購読登録]** をクリックします。その後、電子メール、SMS テキストメッセージ、Webhook、RSS フィードとして、またはこの 4 つを任意に組み合わせて送信された通知を受信することを選択ができます。

## Informatica グローバルカスタマサポート

電話またはオンラインでカスタマサポートセンターに連絡できます。

オンラインサポートについては、Informatica Intelligent Cloud Services の **[サポート要求の送信]** をクリックしてください。またオンラインサポートを使用して問題を記録することもできます。オンラインサポートを利用するには、ログインが必要です。<https://network.informatica.com/welcome> でログイン要求できます。

Informatica グローバルカスタマサポートの電話番号は、Informatica の Web サイト <https://www.informatica.com/services-and-training/support-services/contact-us.html> に掲載されています。

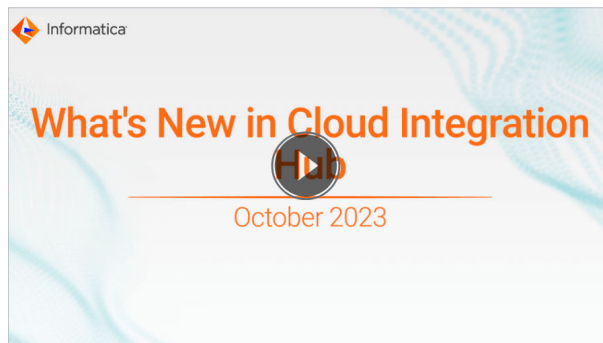
# 第 1 章

## 2023 年 10 月

Informatica Intelligent Cloud Services<sup>SM</sup> Cloud 統合ハブの 2023 年 10 月リリースには、以下の更新が含まれます。

### 新機能と改良点

2023 年 10 月リリースの新機能と改良点については、次の新機能ビデオをご覧ください。



Informatica Intelligent Cloud Services<sup>SM</sup> Cloud 統合ハブの 2023 年 10 月リリースには、以下の新機能と改良点が含まれています。

#### Aurora MySQL をプライベートリポジトリとして設定する機能

Aurora MySQL データベースシステムを使用して、プライベートパブリケーションリポジトリをセットアップできます。

#### JDBC\_IC および JDBC\_V2 接続を使用してトピックテーブルを作成する機能

JDBC\_IC および JDBC\_V2 接続タイプを使用して、接続からトピックテーブルを作成できます。

#### ブラックアウト期間のサポート

スケジュールされたデータ統合および一括取り込みファイルのパブリケーションおよびサブスクリプションに対して、スケジュールされたアセットが実行されないブラックアウト期間を Administrator で設定できます。

#### MySQL 8.x のサポート

MySQL 8.x データベースシステムを使用して、プライベートパブリケーションリポジトリをセットアップできます。

#### 複合サブスクリプションで最新のパブリッシュデータを選択する機能

複合サブスクリプションを手動で実行した場合、または複合サブスクリプションが外部トリガやスケジュールによって実行された場合、スケジュールされた時間またはサブスクリプションがトリガされた時点で、同じパ

アプリケーションからの複数のデータセットまたはファイルを使用できる可能性があります。最新のパブリケーションのデータまたはファイルを使用するという選択ができるようになりました。

## 第 2 章

# 2023 年 7 月

次のトピックでは、Informatica Intelligent Cloud Services<sup>SM</sup> Cloud 統合ハブの 2023 年 7 月リリースの新機能、改良点、および変更された動作に関する情報を提供します。

## 新機能と改良点

Informatica Intelligent Cloud Services<sup>SM</sup> Cloud 統合ハブの 2023 年 7 月リリースには、以下の新機能と改良点が含まれています。

### サブスクリプションの [一時停止] モード

**[有効]** モードと **[無効]** モードに加えて、サブスクリプションに **[一時停止]** モードが導入されました。**[一時停止]** モードでは、Cloud 統合ハブからサブスクリプションを手動で実行することで、遅延イベントを使用できます。サブスクリプションは、スケジュールに従って、または外部 API によって実行されないようになります。

以前は、**[一時停止]** モードは **[無効]** モードと呼ばれていました。

サブスクリプションのモードを **[有効]**、**[一時停止]**、または **[無効]** に設定できるようになりました。以前は、サブスクリプションのモードは **[有効]** または **[無効]** にのみ設定できました。

**[無効]** モードでは、Cloud 統合ハブからサブスクリプションを実行することはできません。サブスクリプションは、スケジュールに従って、または外部 API によって実行されないようになります。関連するパブリケーションが正常に実行された場合でも、無効化したサブスクリプションによって遅延イベントが作成されることはありません。サブスクリプションが **[無効]** モードの場合、パブリッシュされたデータを使用することはできません。

### ホームページからアプリケーションを検索する機能

ホームページからアプリケーションを検索し、関連するパブリケーションおよびサブスクリプションを Hub 概要図に表示できます。

### リレーショナルトピックテーブルのフィールドに対する [必須] の設定

リレーショナルトピックテーブルのフィールドを **[必須]** として指定できます。ソースが、必要な必須フィールドの基準を満たしていない場合、イベントは失敗します。



## データ統合のサブスクリプションソース内にあるパブリッシュされたデータのソートのサポート

サブスクリプションのデータ統合タスクを設定する場合に、ソース内の複数のフィールドのデータを昇順または降順でソートすることができます。

## イベント API 応答の実行 ID 属性

イベント API 応答に、パブリケーションおよびサブスクリプション内のタスクの実行 ID 属性が含まれるようになりました。Cloud 統合ハブからのイベントの取得中に、関連するデータ統合タスクとファイル取り込みタスクの実行 ID を表示することができます。

## 変更された動作

Cloud 統合ハブの 2023 年 7 月リリースには、次のような変更された動作が含まれます。

### 接続内のオブジェクトを検索する機能

リレーショナル接続、フラットファイル接続、または Salesforce 接続からトピック構造を作成する場合に、オブジェクトを検索できます。

以前は、指定した接続からの最初の 200 個のオブジェクトのみを表示できました。

### 【無効】モードという名前が【一時停止】モードに変更されました。

サブスクリプションの【無効】モードという名前が、サブスクリプションの【一時停止】モードに変更されました。このモードでは、Cloud 統合ハブからサブスクリプションを手動で実行することで、遅延イベントをコンシュームできます。サブスクリプションは、スケジュールに従って、または外部 API によって実行されません。

サブスクリプションのモードを【有効】、【一時停止】、または【無効】に設定できるようになりました。以前は、サブスクリプションのモードは【有効】または【無効】にのみ設定できました。

以前は、【一時停止】モードは【無効】モードと呼ばれていました。

## 第 3 章

# 2023 年 4 月

次のトピックでは、Informatica Intelligent Cloud Services<sup>SM</sup> Cloud 統合ハブの 2023 年 4 月リリースの新機能、改良点、および変更された動作に関する情報を提供します。

## 新機能と改良点

Cloud 統合ハブの 2023 年 4 月リリースには、次の更新が含まれます。

### API ベースのサブスクリプションに対する基本認証された通知 URL のサポート

API ベースのサブスクリプションに対して基本認証された通知 URL を提供できるようになりました。

### [参照] ページのデータ統合アセットおよび一括取り込みファイルアセット

Cloud 統合ハブの [参照] ページで、データ統合アセットおよび一括取り込みファイルアセットを表示できます。

### 時間範囲を指定してサブスクリプションの以前のパブリケーションを取得する

サブスクリプションを実行するときに、以前のパブリケーションを取得する日付範囲に加えて、特定の時間を選択できます。

### 複合サブスクリプションのオプションのトピック

複合サブスクリプションを作成するときに、必須トピックに加えてオプションのトピックを定義できます。Cloud 統合ハブは、オプションのトピックに対してパブリッシュされたデータがない場合でも、定義された期間の後に、必須トピックに対してパブリッシュされたデータセットを使用してサブスクリプションを実行します。

# 変更された動作

Cloud 統合ハブの 2023 年 4 月リリースには、次の変更された動作が含まれます。

## Cloud 統合ハブをファイル取り込みタスクのソースまたはターゲットとして使用する

Cloud 統合ハブをファイル取り込みタスクのソースまたはターゲットとして使用できます。

以前は、ローカルフォルダをソースまたはターゲットとして選択し、ソースプロパティまたはターゲットプロパティを入力する必要がありました。

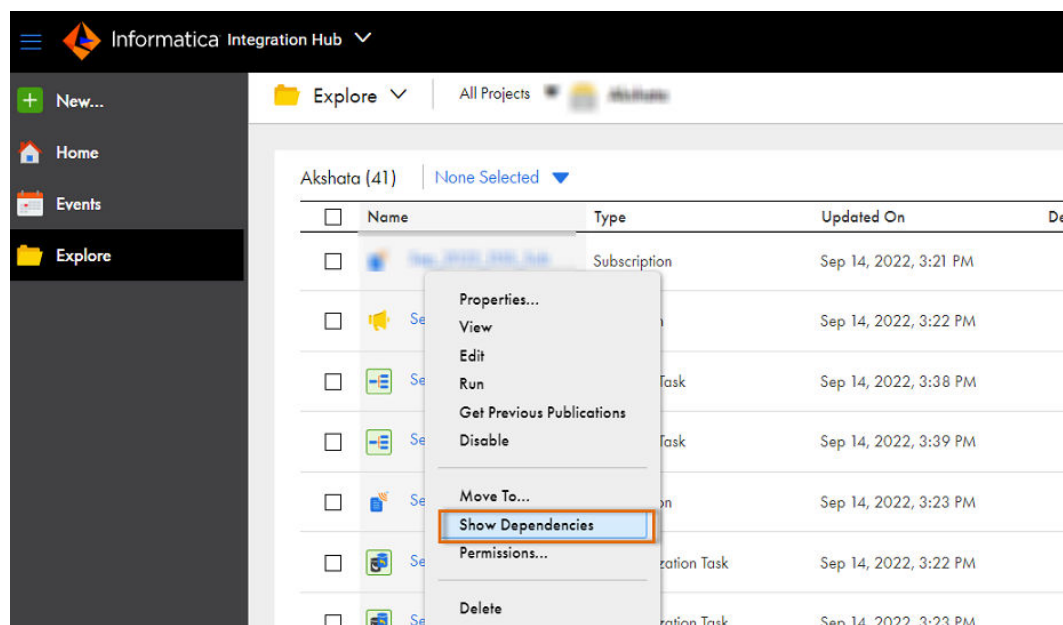
## トピックデータの暗号化

ホストされたパブリケーションリポジトリ内の新しいトピックデータの暗号化を手動で有効にする必要があります。

以前は、トピックデータはデフォルトで暗号化されていました。

## オブジェクトの依存関係

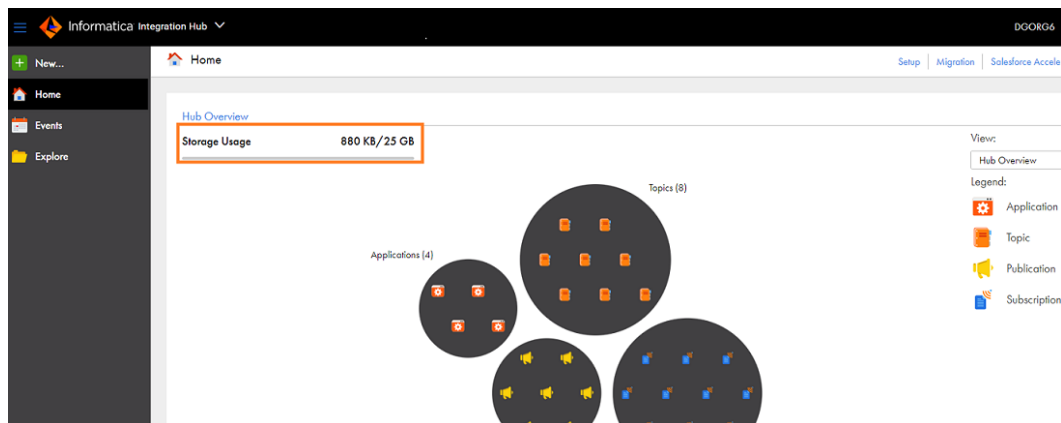
**【参照】** ページの **【依存関係の表示】** オプションを使用して、オブジェクトの依存関係を表示できます。



以前は、オブジェクトの依存関係は、トピックページまたはアプリケーションページから、および **【Hub 概要】** ページにある関係図からのみ表示できました。

## ストレージの使用状況

ホストされたパブリケーションリポジトリを使用しているときに、**【Hub 概要】** 図の左上隅にある **【ホーム】** ページで、組織のストレージの使用状況を追跡できるようになりました。



以前は、ストレージの使用状況は【Hub 概要】図の右上隅に表示されていました。

## Cloud 統合ハブをファイル取り込みタスクのソースまたはターゲットとして使用する

今後は、Cloud 統合ハブをファイル取り込みタスクのソースまたはターゲットとして使用する必要があります。

以前は、ローカルフォルダをソースまたはターゲットとして選択し、ソースプロパティまたはターゲットプロパティを入力する必要がありました。

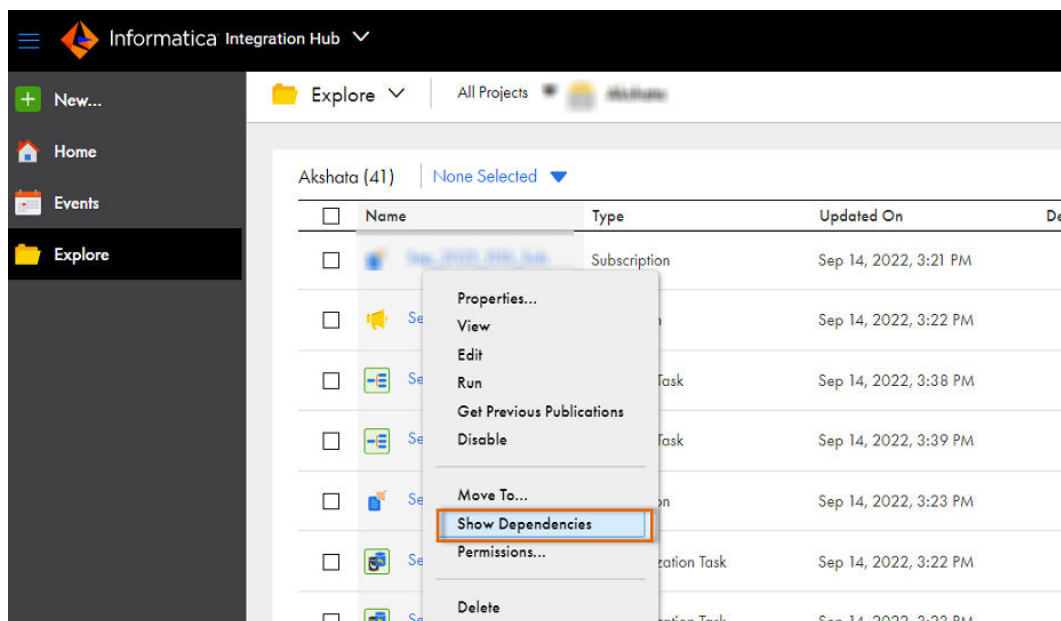
## トピックデータの暗号化

ホストされたパブリケーションリポジトリ内の新しいトピックデータの暗号化を手動で有効にする必要があります。

以前は、トピックデータはデフォルトで暗号化されていました。

## オブジェクトの依存関係

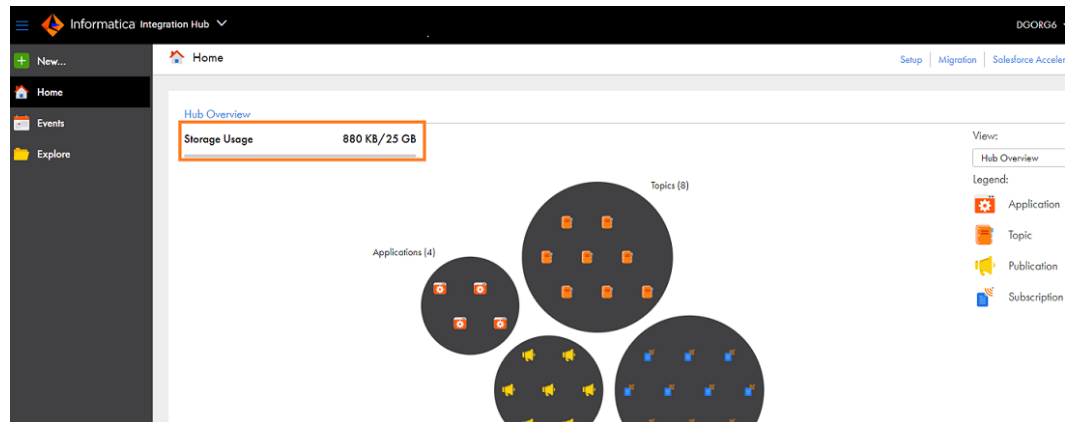
【参照】 ページの【依存関係の表示】オプションを使用して、オブジェクトの依存関係を表示できます。



以前は、オブジェクトの依存関係は、トピックページまたはアプリケーションページから、および【Hub 概要】ページにある関係図からのみ表示できました。

## ストレージの使用状況

ホストされたパブリケーションリポジトリを使用しているときに、【Hub 概要】図の左上隅にある【ホーム】ページで、組織のストレージの使用状況を追跡できるようになりました。



以前は、ストレージの使用状況は【Hub 概要】図の右上隅に表示されていました。

# 索引

## C

Cloud Application Integration コミュニティ

URL [4](#)

Cloud 開発者コミュニティ

URL [4](#)

## I

Informatica Intelligent Cloud Services

Web サイト [4](#)

Informatica グローバルカスタマサポート

連絡先情報 [5](#)

## W

Web サイト [4](#)

## あ

アップグレード通知 [5](#)

## し

システムステータス [5](#)

## す

ステータス

Informatica Intelligent Cloud Services [5](#)

## め

メンテナンスの停止 [5](#)